

平成 20 年度麻布大学同窓会宮城県支部総会開催報告と一支部紹介一

宮城県支部長 佐藤信嘉(昭和 36 年卒)

平成 20 年度の支部総会は、10 月 4 日・5 日に 8 種の泉質を持つことで有名な鳴子温泉の仙庄館で開催されました。当地は、平成 20 年 6 月 14 日に起きた岩手宮城内陸地震の震源地に近く、客足の激減が著しく支部として復興に幾ばくかの援助をしたいとの思いからご当地開催となりました。

開会に先立ち、先年の総会以降に物故された 4 名の方々に黙祷を捧げた。来賓挨拶は、本部の和田教授から大学の近況を含め、お祝いのお言葉を頂戴しました。

議事に入り、決算予算は原案どおり可決され、役員改選で、不肖小生が第 5 代目の支部長に選任されました。新任にあたり、宮城県支部活動を振り返って支部の今後のあり方について再検討したいと思います。

宮城県支部は、昭和 28 年に設立され本年で 55 年を迎えました。

昭和 28 年 3 月 22 日、鈴木三郎教授をお迎えし、会員 20 名の参加で設立総会を開催。支部長に長岡弘毅(昭和 13 年卒)、副支部長に本郷熊男(昭和 12 年卒)先生を選出し、以後毎年 6 月前後に総会を開催してきました。

支部活動の中で特筆すべきことは、第 16 回麻布獣医学会を昭和 41 年 11 月 20 日、仙台共済会館で開催し、学外開催の先鞭となったことです。当時の経済情勢や交通事情が現在のようにでない中での開催だったと思うので、その当時関係した大学並びに本県の諸先輩の英断に敬意を表します。

次いで、平成 6 年 7 月 30 日に第 69 回麻布獣医学会を仙台市民会館で開催しました。市民公開講座は「ヒトと地球と動物と」と題し、ラムサール条約指定地の伊豆沼・内沼環境財団の柴崎徹先生と恩賜上野動物公園長(当時)の増井光子先生に基調講演を頂き、県内をはじめ東北各地から 450 名もの参加を得、東北獣医学会以上の参集者を得たことに、遅ればせながら感謝し近況報告と致します。

